

2024年3月28日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

二松学舎（証券コード：－）

【維持】

発行体格付：A- [安定的]

【格付理由】

明治時代の法曹界の重鎮だった三島中洲が1877年に創設した漢学塾を起源とする学校法人。二松学舎大学を中心に2つの附属高等学校と1つの附属中学校を運営し、約5200人の学生・生徒数を有する。法人は東京都心部の九段にメインキャンパスを構え、立地に優れるほか、千葉県柏市にも大学と附属校のキャンパスを備える。夏目漱石や嘉納治五郎が学び、渋沢栄一や吉田茂が舎長を務めた歴史を持つなど、多くの著名人が大学関係者に名を連ねる。文学部と国際政治経済学部の人文・社会科学系の2学部を設置し、国語科の教員養成では「国漢の二松学舎」と呼ばれるほど評価が高く、中等教育機関向けに多数の卒業生を輩出している。

2023年度入試の総志願者数は文学部がほぼ前年並み、国際政治経済学部が対前年比約13%増となり、実志願者数でも増えるなど比較的良好な実績を残した。一方、2024年度入試は前年度以上に、一般選抜の募集枠を減らして総合型選抜に振り替えるなどの入試改革を実施したことなどが響いて、総志願者数は対前年比約18%減となった。隔年現象による国際政治経済学部の減少幅が大きかった可能性もあり、来年度以降の学生募集状況を確認していく。

長期ビジョン「N' 2030 Plan」を2017年に公表し、「東京所在の中堅私立大学から更に優れた私立大学へのブランドアップ」を標語に掲げ、附属中高と一体で教育面、経営面で改革に取り組んでいる。対象期間の振り返り点を迎えた時点では、計画は順調に進捗している。新学科・新研究科の開設、新カリキュラムの導入などが主な実績だ。2022年には教育のデジタル化に向け教学DX推進室を設置。教育・研究環境や業務環境の整備を実施して、学修者本位の教育の実現を目指す。想定を上回る少子化の進展など、大学間の競争が激化するなか、政府は基金を設けて理工農系学部の新設・転換を支援する策を講じている。文理融合型の分野も対象に含まれ、二松学舎の対応を確認していく。なお、2023年4月に就任した学長が、過去に発表した論文の不正疑惑を調査する委員会が立ち上がり、調査の公平性や公正性を確保したいとの理由から、同年9月に辞任する事態が生じた。今後は理事会を中心とする経営部門が教務部門の業績管理体制に対するチェック機能を強化して教職一体となった法人運営体制を一段と固めていくとみられ、その進捗を確認していく。

収支差額は教育研究経費などの費用増加で一時低迷したものの、ここ数年は投資の一段落や学費改定効果などにより回復傾向にある。安定的な学生・生徒数の確保、効率的な資産運用も収支差額の改善に寄与している。現状の収支状況や財務構成は格付対比良好な水準に改善している。九段の附属高校の校舎建て替えなどで相応の投資が見込まれるが、ある程度の投資余力を備えている。

【格付対象】

発行者：二松学舎

【維持】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A-	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行者が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/does/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	二松学舎
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付を付与した日	2024年3月28日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021/06/01]、学校法人 [2021/05/31]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。